

令和元年 事業所における児童発達支援事業自己評価表

事業者向け 児童発達支援自己評価表

障害児デイサービスセンターさわやか  
鳥取市富安二丁目96(さわやか会館)  
TEL(0857)27-3338  
FAX(0857)24-3022

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、保育士、児童指導員を1名以上配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			基本的にバリアフリーの配慮はしてありますが、建物の構造上階段の上り下りがあります。(エレベーター有)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの達の活動に合わせて空間になっているか	○			児童の利用終了後、環境整備、清掃をしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員会議を毎月行い、職員間で情報共有しています。よりよい支援のため毎日のミーティングでふりかえりを行っています。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価を実施しました。業務改善を日々実施しています。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所の配布物で報告を行っています。年度末にwebでも公開予定です。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は現在行っていませんが、今後必要に応じて実施を検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			必要に応じて、研修しています。研修を回覧し参加の機会をさらに確保します。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			標準化されたアセスメントシートを使用し、定期的なアセスメントにより個別支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画書に沿った支援が行われているか	○			職員間でそれぞれの計画内容を周知し、計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			特性を考慮して活動内容を工夫しています。
15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				

令和元年 事業所における児童発達支援事業自己評価表

適切な支援の提供	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間で事前打ち合わせをし、情報共有に努めています。事業後には振り返りを行っています。次の支援に向けて、記録も正確に記入しています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングを実施し、支援の振り返りや今後の課題について、保護者の方に確認し、必要に応じて、個別支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が中心に参加しています。
	21	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者各位に移行支援会議の声かけをしています。引き継ぎ書を作成し対応する予定です。
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか、小学校や特別支援学校(小学部)と支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		支援会議等で連携しています。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	支援時間内での交流は難しいためしていません。
	25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議へ積極的に参加しているか			○	必要に応じて、参加をします。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どもの状況を連絡帳に記入し毎日伝えています。送迎時に子どもの発達の状況や課題について保護者とやりとりをしています。
27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		

令和元年 事業所における児童発達支援事業自己評価表

保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規程や利用者負担について説明をさせていただいています。運営規定の掲示をして、いつでも確認ができるようにしています。
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて、対応をしています。
	31	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応窓口(管理者)とともに、職員間で情報共有をし、適切に対応しています。
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		奇数月におたよりを配布しています。
	33	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載された書類は、鍵付キャビネットに保管しています。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて、視覚的情報などを利用し、書類にふりがなをふるなど、情報伝達のための配慮を行っています。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	3月に作品展を開催予定です。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	避難訓練の計画を見直し年度内に訓練を実施します。また、実施の様子を保護者各位に周知します。
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているため	○			与薬依頼書や処方箋のコピーなどの提出と発作の有無や対応を確認しています。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを策定し、定期的に研修しています。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に、重要事項説明書により、身体拘束についての説明をしています(令和元年12月時点で拘束の必要な児童はいません)。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にアレルギーの有無や服薬状況などの情報を収集し、職員間で共有しています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例があった場合は、報告書を作成し、事業所内で共有しています。